

2024年6月度 中部品質工学研究会 議事録

1. 開催日時 2024/6/1 (土) 10:00~16:00

2. 開催場所 中部品質管理協会

3. 会員参加者<敬称略> S: オンサイト出席・L: オンライン出席、欠: 欠席、書: 書記、休: 休会

大見	S	牧野	S	横尾	S	城越	S	伊藤	S	舟山	S	出島	S	水田	書
山中	L	山口(展)	S	黒田	S	鈴木	L	池田	S	山口(直)	S	前田	S	北村専務	S
小西	休	中山	休	李	休	河合	休	則尾	休	杉浦	休	三浦	休	福田	休

4. 研究会内容

1) 「輪講：基本機能ハンドブック 第2章」(横尾)

基本機能ハンドブック第2章：転写機能の項について纏め、「転写機能における基本機能とは」について論議した。この機能で扱う入出力は、「入力そのままに出力される」という考えで使用することが多い。そのためシステム全体を捉えてパラメータ設計する場合や、評価する場合には適するが、個々のサブシステムには、その中でパラメータ設計しないと上手く行かない。との意見が出た。
従って、どの基本機能にも当てはまることではあるが、「目的とシステムを照らし合わせた上で使用しなければならない」との結論となった。

2) 「テーマ相談：制御因子とノイズ因子の直積実験PDCAによるパワーMOSFETのロバスト設計」(山中)

出発条件を中心条件として、内側制御因子 (L36直交表+乱数) x 外側ノイズ因子 (L20直交表ベースの因子組み合わせ網羅表) の直積実験を行い、得られた最適条件を次の中心条件として同様の実験を行うというサイクル実験を2サイクル実施した。パラメータ設計の大きな目的の一つは、制御因子間の交互作用が小さい条件を求めることにある。得られた最終解には制御因子間交互作用がほとんど現れておらず、パラメータ設計と同様の目的が達成できたことになる。

3) 「RQES2024発表内容検討 (前田)

形態素解析と誤圧法を用いた特許選別システムの構築」
先月の指摘内容を踏まえて資料を修正した。図の表現など発表を分かりやすくするための助言があった。誤圧法を採用した理由や、調査範囲拡大時の担当者負荷などが想定質問として挙がった。

4) 「事務局連絡」

- 今年度の講師招聘
 - ・2名 (西野さん、太田さん) に決定 (来年1月~3月ごろ)
- 合宿
 - ・日程: 11月9日 (土) ~11月10日 (日) あいち健康の森 ※講師は呼ばない
 - ・合宿テーマを協議する (ネタ出しはスラッグにて)
- 会計報告
 - ・伊藤社長より報告
- その他
 - ・関西情報誌に城越さんが掲載
 - ・品質工学会から公認研究会認定条件の確認・・・中部としては静観